



窯元路
ぶらり散策

日置市

火と土と人とともに

薩摩焼は、いちき串木野市(島平)に上陸した朴平意(ぼくへい)が串木野窯を築窯し、その後下伊集院村大字苗代川(現在の日置市美山)に移住して築窯したことに始まります。

それから約四百年。薩摩焼は国内はもとより世界でも多くの人々を魅了してきました。格調高い「白薩摩」や風格ある「黒薩摩」。そのいづれにも多くの陶工が培い継がれてきた技と心があります。

実り豊かな木々のささやきに耳を傾け、清流からの風に心を和ませる。そんなぜいたくな時間を「薩摩焼」とともに過ごしてみませんか。

薩摩焼の主な系統

苗代川

創祖は朴平意(ぼくへい)。1599年に薩摩焼最初の串木野窯を築き黒薩摩を中心に焼いた。その後、下伊集院村大字苗代川(美山)に移住したことが始まり。1782年からは白薩摩の捻物細工も始まり、以後薩摩焼の郷として多くの窯元が集まる。

豎野

創祖は金海。1601年に始良町帖佐に宇都窯を開窯。薩摩藩主の命により、朝鮮より持ち帰った白土を用いた白薩摩(茶入)の製作を始める。1870年までの長期にわたり藩の御用窯であった。

龍門司

創祖は下芳仲(べんほうちゅう)と何芳珍(かほうちん)。1608年の加治木町の龍口坂窯が始まりとされる。名工と呼ばれた川原芳工(1727〜98)の家系を中心に受け継がれている。

守り継がれる技と心

薩摩焼のあゆみ

始まりは慶長三（1598）年。文禄・慶長の役（朝鮮出兵）にさかのぼります。この頃の朝鮮は陶器において高い技術と文化を持っていました。茶道の流行期であった日本では、この技術を持ち帰ろうと多くの藩が陶工を日本へ連れ帰り焼き物を始めました。千利休の弟子でもあり、茶の湯を愛した島津義弘公も朝鮮陶工約八十人を連れて帰国。これは薩摩藩の文化・産業の振興の為にあったとも言われています。

陶工たちは鹿児島県のいちき串木野市（島平）、日置市（神川）、鹿児島市（前之浜）などに上陸。薩摩藩庇護の下、各地で開窯したのが薩摩焼の始まりです。

その後、薩摩焼は鹿児島豊かな風土と陶工たちのたゆまぬ努力により、鹿児島島の伝統工芸品の地位を築き上げ、平成十四年には国の伝統工芸品として経済産業大臣の指定を受けました。現在では日置市全域に个性的な窯元が点在し、それぞれが趣向を凝らした作品を製作しています。

今もなおわたしたちの暮らしや食卓を彩り、多くを魅了してやまない薩摩焼。今度の週末あたり窯元巡りなどいかがでしょう。

白薩摩

しろさつま

かつては全て藩主の手に取られ、一般の人々の目に触れることはなかった。玉のような肌に錦手や精巧な透かし彫が施され、芸術の域を極めるものも多く、海外からも高く評価されている。



黒薩摩

くろさつま

白薩摩に対して、大衆用の日用雑器として焼かれていた陶器で、鉄分含有量が多い土を用いるため黒くなる。繊細かつ優美な白薩摩に対し、野趣あふれ重厚な面持ちが特色で、黒薩摩のファンも多い。

1598	朝鮮陶工がいちき串木野市島平、日置市神之川、鹿児島市前之浜などに上陸
1599	朴平意が串木野窯を開く
1601	このころ金海が始良市帖佐に宇都窯（野野系）、芳仲が八日町窯を開く
1603	島平から苗代川（日置市美山）に移住
1605	このころ苗代川に元屋敷窯開窯、朴平意が庄屋となる
1608	芳仲が始良市加治木に龍口坂窯（龍門司系）を開く
1624	朴貞用が庄屋役となり寛永年間（1624〜43）に白土を発見
1663	小野元立が始良市帖佐西餅田に元立院窯（西餅田系）を開く
1669	鹿児島市高麗町から苗代川へ移住。星山嘉人が苗代川で五本松窯開窯
1704	苗代川から鹿屋市笠野原へ移住した陶工が笠野原窯開窯
1764	苗代川の藩窯御物窯を御定式窯と改める
1844	苗代川で錦手を始め、朴正官が錦手主取となる
1846	苗代川に白磁染付専門の南京皿山窯開窯
1857	朴正官が磯邸内の磯御庭窯で研究。磯集成館磁器製造所支部を苗代川に置く
1867	パリ万博に朴正官の錦手花瓶が出品され海外輸出のきっかけになる
1873（明治6）	ウィーン万博に12代沈寿官の大花瓶を出品
1986（昭和61）	第1回美山窯元祭りを開催
1990（平成2）	鹿児島市で第1回薩摩焼フェスタを開催
1996（平成8）	森林体験交流センター美山陶遊館がオープン
1997（平成9）	鹿児島県陶業協同組合が設立
1998（平成10）	薩摩焼四百年祭を開催（美山）
1999（平成11）	美山窯元祭り実行委員会が「国土長官賞」を受賞
2002（平成14）	薩摩焼が国の伝統的工芸品として経済産業大臣の指定を受ける
2007（平成19）	パリのセーブル美術館で薩摩焼パリ伝統美展を開催
2013（平成25）	第28回美山窯元祭りを開催

焼物用語

知っておきたい!!



薩摩焼の歴史

製造工程・用語

東市来の窯元

伊集院の窯元

日吉の窯元

吹上の窯元

灰釉(かいうゆう) 木灰や土灰など天然の灰を原料とした釉薬。

貫入(かんにゅう) 表面に表れた繊細なひび割れで白薩摩の特徴の一つ。

素地(きじ) 釉薬を掛ける前の成形された土もの。焼成前は生素地、素焼後のものを素焼素地という。

黒薩摩(くろさつま) 粘土、釉薬の黒および白以外の雑色釉の焼物。庶民の日用雑器として発展した。(4ページ参照)

黒デヨカ(くろぢよか) 鹿児島で呼ばれる土瓶類の総称。

香炉(こうろ) 香を入れる容器で透かし彫の技法が多い。

粉引(こひき) 鉄分を多く含んだ素地に白土を塗り、透明釉を掛けたもの。粉を引いたように見える。

磁器(じき) 多くは石の粉末を加えた粘土で成形し、強火度で焼成。非吸水性で素地は白色が準じた色。有田焼が有名。

焼成(しょうせい) 陶磁器を窯に入れて高温で焼くこと。

白薩摩(しろさつま) 薩摩焼のうち、白土に透明釉が掛かり、細かな貫入が全面に入った陶磁器。昔は藩主の専用品で庶民は使えなかった。(4ページ参照)

透かし彫(すかしぼり) 装飾技法の一つで、器をくりぬき文様としたもの。

成形(せいけい) 陶磁器の形を作る工程。タタラ、ロク口成形など。

象嵌(ぞうがん) 素地に異なる色の粘土を埋め込み装飾する技法。

染付(ぞめつけ) 素地に酸化コバルトを主成分とする顔料で絵付をして、その上に透明釉を掛け焼成した陶磁器。

叩き(たたき) 器の内側に当て板を当て、外側から叩き板で叩いて成形する技法。

タタラ(たたら) 土を板状にして器物を作る成形法。

手捻り(てびねり) ロク口、型などを使用せず指で伸ばしながら成形する方法。

錦手(にしきで) 陶磁器に赤、緑、黄、紫、青などの透明白の上絵の具で絵付したもの。

練り込み(ねりこみ) 複数の異なる粘土を練り込み、さまざまな模様を作る技法。

登り窯(のぼりがま) 窯の形式の一つ。傾斜面に数個の焼成室を連結して築いた窯。

刷毛目(はけめ) 白泥を刷毛で一気に器に塗った装飾法。

紐作り(ひもづくり) 紐状の粘土の輪を積み上げて成形する方法。輪積わづみともいう。

焼締(やきしめ) 素地に釉薬を塗らず高温で焼成する方法。

釉薬(ゆうやく) 陶磁器の表面を装飾し、堅さや緻密さを与えるための薄いガラス質の被膜。上薬(うわぐすり)ともいう。

窯変(ようへん) 焼成により起こる素地や釉の予想外の変化。意図的に生じさせる場合もある。

ロク口(ろくく) 粘土を載せた円盤を回転させる台。電動ロク口、蹴ロク口など。

白薩摩

坏土
数種類の粘土を混合し練った土

成形
・ロク口成形・鑄込(いこみ)成形
・機械ロク口成形

乾燥
仕上げまでのやや乾燥

仕上
カンナ等で削る、または彫

乾燥
自然乾燥または熱風乾燥

素焼
750~850℃

素焼磨き
表面のザラ付きを取る

施釉(釉薬)
透明釉(浸掛・流し掛)、他

本焼
1,230~1,260℃

上絵付(生地)
骨描き(線描き)、色込め(彩色)

上絵付窯焼付
720~800℃

金細工(金描き)
金描きまたは金盛り、他

上絵付窯金焼
600~680℃

製品 **製品**

黒薩摩

坏土
数種類の粘土を混合し練った土

成形
・ロク口成形、タタキ成形
・機械ロク口成形、他

乾燥
仕上げまでのやや乾燥

仕上
カンナ等で削る、化粧等装飾を行う場合もある、または彫

乾燥
自然乾燥または熱風乾燥

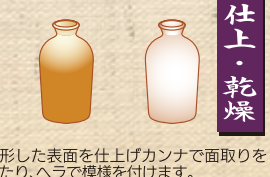
素焼
750~850℃

素焼磨き
表面のザラ付きを取る

施釉(釉薬)
数種類釉薬掛(浸掛・流し掛)、他

本焼
1,230~1,260℃

製品



東市来エリア



薩摩焼最大のイベント

美山窯元祭り

- ◆とき 11月初旬
- ◆ところ 日置市東市来町美山地区



県下最大の薩摩焼の産地美山地区で毎年十一月初旬に薩摩焼のイベント「美山窯元祭り」が開催されます。ロクロや絵付などが体験できるコーナーでは陶工の手ほどきを受けながら自分だけの薩摩焼を作製できます。県内外から多くの薩摩焼ファンが訪れ、晩秋の陶郷美山が沸き返ります。

① かつらぎとうげい
桂木陶芸
とうはくがま
桃伯窯
桂木武

日置市東市来町美山1-5-24
099-2574-2207
9時00分～18時00分(冬季は17時)
第二・四火曜日
無休
3台

素朴で力強い黒薩摩、用と美の調和と白薩摩。先人の生活の知恵と心豊かさ、飽くなき技術向上への精進が伺える伝統工芸を、ロクロ職人として世代の生活に生きる焼物を創造している。花器、茶道具から日用品まで幅広く製作している。

MAP 7P



営営業時間 休 休日 体 体験 駐 駐車場

薩摩焼の歴史

製造工程・用語

東市来の窯元

伊集院の窯元

日吉の窯元

吹上の窯元

②

あらきとうよう 荒木幹二郎
荒木香樹



日置市東市来町美山1571
099-274-2733
8時30分〜17時00分
無台 35台



荒木家は渡来の後、薩摩焼四百年の歴史とともに代々陶工として歩んできた「朴家」十五代目の末えい。唯一、文化庁主催の日本伝統工芸展に白薩摩・黒薩摩で入選を果たし日本工芸会正会員の認定を受けている。



MAP ▶ 7P

③

たきがわとうえん 瀧川陶苑



日置市東市来町美山1549
099-274-1259
9時00分〜18時00分
不定休
有・要予約
5台



伝統的な白薩摩・黒薩摩を主体に幅広く製作している。特に花瓶(大)、飾り皿(大)、茶道具などの絵模様は独自性豊かな作風で、他には見られない作品。また黒薩摩や染付は新しい感覚を生かし、色や形と若者向けにも独特の技法を取り入れている。



MAP ▶ 8P

④

えんまいとうえん 炎舞陶苑



日置市東市来町美山1070
099-274-5067
9時00分〜18時00分
無台 3台

体験あり
絵付けのみ
要予約



昭和五十年に創業。平成二年に絵付一級技能士を取得した。現在は佐賀県立有田窯業大学校で口クワの技術を習得した長男と親子二人三脚で手作り、手焼きの作品に取り組んでいる。白薩摩をはじめ湯呑、飯碗、コーヒール碗、皿など親しまれ、使い心地の良い作品作りを心掛けている。



MAP ▶ 8P

⑤

らんじゅかんばんがま 沈寿官窯 十五代沈寿官



日置市東市来町美山1715
099-274-2358
8時30分〜17時00分
無台 20台(大型車2台)

http://www.chin-jukan.co.jp/



四百年、窯の火を絶やすことなく薩摩焼を守り育てている。成形、透かし彫りなどすべてが手仕事で、技術水準は高く評価されている。代々の作品や古い文書などを備えた「沈家伝世品収蔵庫」では薩摩焼が歩んだ歴史に触れることが出来る。作陶風景も窓越しに見学できる。



MAP ▶ 8P

⑥ 十郎窯 染浦十郎



日置市東市来町美山1069
 099-274-2567
 9時00分～17時00分
 無休
 無休
 無休
 3台

http://www.jurogama.com/

白薩摩と黒薩摩を半々の割合で製作している。黒薩摩の釉薬には所有する山のカシヤシイの灰を用いている。伝統的な色や形を受け継ぎながら、客の好みに応じてまじめに取り組むことを作陶の基本としている。

MAP 8P



⑧ 未来薩摩圭介窯 永吉圭介



日置市東市来町美山9925
 099-274-9837
 10時30分～18時00分
 不定休
 有・要予約
 7台

あり体験

未来的発想を常に心掛けながら、芸術性・有用性をテーマに作品を製作している。また「未来薩摩は地球焼き」と考え、世界の焼物の土、釉薬、技法などを取り入れた新しい物作りにも挑戦している。



MAP 8P

⑦ 薩洲善衛陶舎 吉永誠悟



日置市東市来町美山1950
 099-274-2320
 8時00分～17時00分
 無休
 無休
 6台

昭和三十七年に創業。以来伝統的な薩摩焼を製作してきたが、ここ約十年は粉引(こひき)、葉文(ようもん)、練り込み、炭化(たんか)といった新しい試みにも取り組んでいる。創業以来、不変の使いやすい器を基本に、新しい技術やデザインを追求し続けている。

MAP 8P



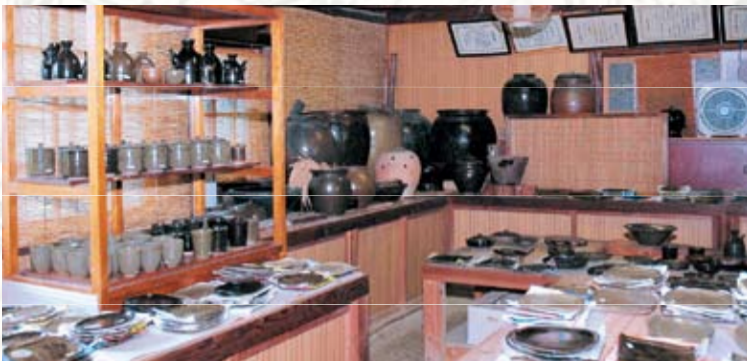
⑨ 佐太郎窯 鮫島佐太郎



日置市東市来町美山4566
 099-274-2450
 8時00分～17時00分
 元旦・1月2日
 有・要予約
 3～5台

あり体験

苗代川焼の四百年の伝統と歴史を守り、素朴で温もりのある黒薩摩を次世代に伝えようと常に心掛け製作している。昔ながらの素材で作陶し、さまざまな顔を持ち使い手の心を和ませる黒薩摩を目指している。



MAP 8P

⑩ 緋色窯

川原未愛



駐休体営 日置市東市来町美山4101
☎09925742287
10時00分〜18時00分
不定休
無
8台



土本来の味わいを引き出すために、釉薬を一切使わず、炙りからひたすら薪を焚き続ける。時間をかけ高温で焼き上げた器は、炎と灰のコントラストが土肌に思いがけない景色を生み出す。毎日の暮らしを楽しく彩る創作器作りを心がけている。



MAP ▶ 8P

⑪ 千窯岩

神之門和成



駐休体営 日置市東市来町美山19132
☎09925745778
8時30分〜17時00分
月曜(祝祭日の場合は翌日)
有・要予約
8台



メダカ柄のデザイン、の食器や楽器の時計、ブドウ柄のランプシェード、洗面鉢等を製作している。現在は、美山陶遊館の管理者として、陶芸体験の指導も行っている。



MAP ▶ 8P

⑫ 心齋窯

福永茂史



駐休体営 日置市東市来町美山1250
☎09057338006
10時00分〜18時00分
水・木曜日
有・要予約
6台



すべてが手作り。灯油窯では独自の白を求めて粉引、刷毛目(はけめ)、象がん器など、薪窯では輪積や叩き技法で食器、花器、壺類を製作している。火加減で予期せぬ作品を創り出す窯変粉引(ようへんこひき)にも取り組んでいる。



MAP ▶ 7P

⑬ 手づくり工房 ひだまり

久保旭



駐休体営 日置市東市来町湯田42243
☎09925745910
10時00分〜18時00分
不定休
有・要予約
5台



平成十七年に温泉の街、湯之元郊外に開窯。使っていて楽しくなるような、食卓に和らぎと暖かさを感じるような器作りを心掛けています。暮らしを彩る器、贈り物としても喜ばれる器を作っている。



MAP ▶ 7P

日置市東市来町養母1-3-236
TEL 099-274-6516
10時00分～16時00分
日曜・祝祭日
有・要予約
20台

体験
あり



見晴らしの良い山の中腹に開窯。心の赴くままに器や魚の形をした置物など製作している。すべてが手作り。色や形が異なる作品が所狭しと並んでいる。梅雨時には三千株のアジサイが迎えてくれる。

MAP ▶ 7P



森林体験交流センター
美山陶遊館

<http://www.touyukan.com/>



美山の窯元の作品も購入することができます。

薩摩焼体験 & 薩摩焼販売

美山陶遊館は「薩摩焼の里」に建設された自然に親しむための体験型レクリエーション施設です。竹林に面したのどかな環境で気軽に薩摩焼の陶芸体験を楽しめます。最大五十人までが同時に体験できますのでグループなどでも利用できます。

体験の時間帯

午前8時30分～午後5時

陶芸体験料金(要予約)

□ク口2050円(約50分)

手びねり1510円(90分)

※完成まで1カ月程度、

送料別途で郵送可

日置市東市来町美山1-051

TEL 099-274-5778

8時30分～17時00分

月曜12月29日～1月3日
有(大型1台可)

MAP ▶ 8P

美山の旬の情報、発信中!



craftman village miyama
クラフトマンヴィレッジ

クラフトマンヴィレッジ

検索

様々な窯元や工房が点在する
“作り手たちの暮らす村”美山の
“今”を紹介する情報発信サイトです。

鹿児島
薩摩焼の郷
美山 HP



ぐるっと 美山通行手形

通行手形で楽しさ倍増

美山散策は通行手形と一緒に♪豪華商品をゲット!



「ぐるっと美山通行手形」
お楽しみ方

美山では観光に来られた方がもっと楽しめるように「通行手形」を発行しています。スタンプラリーの要領で裏面の全てのお店を回ると豪華商品をゲット! 通行手形加盟店で購入できますので、のぼり旗のある店舗でお買い求めください。

美山手形を、美山陶遊館、または加盟店にて、千円で購入します。

地図にある美山のお店に行き、スタンプを押してください。

全てのお店で、スタンプを押し終えたら、陶遊館にて工芸品をひとつ、チケット等からひとつ、合計ふたつをGET! (但し、各商品に限りがあります)



駐休休営 日置市伊集院町徳重673-8
 ☎09043471698
 8時00分～18時00分
 無 有・予約無し可
 小型2台

あり体験

平成十一年に創業以
 来、茶道具から日用品ま
 で幅広く製作している。
 現在は主に亀裂模様
 のある焼物を製作してい
 る。一回目に本焼、二回
 目に亀裂釉薬を吹き付
 けて焼直し、独自の作品
 を作り上げている。

MAP 18P



② 篠の窓
 し の が ま
 篠田 雍昭



伊集院ア

伊集院



至東市来(養母) 至鹿児島市
 つつじヶ丘団地
 ① 茜工房
 妙円寺団地
 至東市来
 ゆすいん ●
 徳重神社 ●
 日置市役所 ●
 いじゅういん駅
 九州新幹線
 県道206号 ●
 チェスト館 ●
 至鹿児島市
 南九州自動車道
 伊集院 IC
 至東市来(美山) 至鹿児島市
 県道24号 ●
 ③ 山と野の紀行
 至日吉
 県道37号 ●
 J.R.鹿児島本線



駐休休営 日置市伊集院町大田上1302
 ☎09925730861
 10時00分～17時00分
 無 有
 5～6台

③ 山と野の紀行
 やまの の きこう
 手作り工房
 田中 紀行



昔ながらの染付で
 青を基調とした器を
 製作している。繊細な
 タッチの絵付で日々
 の暮らしに調和した
 器を、心を込めて一つ
 一つ作ることを心掛
 けている。

MAP 18P



駐休休営 日置市伊集院町麦生田1065-1
 ☎09925732789
 9時00分～17時00分
 月・火・水曜
 7台 無

① 茜工房
 あかね こうぼう
 白濱 敬康



手づくりの味十分な
 器。そのような器は、使っ
 ているうちにはまってし
 まうような、何とも言え
 ない深い味がでてくるも
 のです。
 及ばずながら、そのよ
 うな味のある器をめざし
 て、頑張っています。

MAP 18P

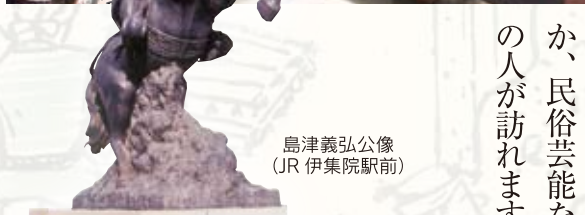


鹿児島三大行事

妙円寺詣り

〜薩摩魂に触れる〜

- ◆とき 10月第4日曜日と前日の土曜日
- ◆ところ 日置市伊集院町徳重神社近辺



島津義弘公像
(JR伊集院駅前)



詳しい情報はホームページをごらんください。
[日置市ホームページトップページ](#)
[イベント情報](#) > [祭りイベントカレンダー \(10月\)](#)

時は一六〇〇年。天下分け目の戦いとして知られる関ヶ原の戦いの折、豊臣方として戦った島津勢は徳川方の敵中を突破し帰鹿を果たしました。鹿児島城下の武士たちは往時の苦難をしのび、いつからともなく義弘公の菩提寺（ぼだいじ）である妙円寺を参拝するようになりました。当日は鎧冑に身を固めた勇壮な武者行列のほか、民俗芸能などが披露され県内各地から多くの人が訪れます。

いつでも気軽に陶芸体験!! 世界でひとつの陶器を手に入れよう



窯元を巡るうちに「オリジナルの陶器を作ってみたい」と思われた方も多いことでしょう。
 市内には気軽に陶芸体験を楽しめる窯元が多く、陶工の指導を受けながら口ウロや手びねりを体験できます。なかには口ウロの技術を得し、本格的な薩摩焼を作る常連の方も。土と戯れながら世界にひとつだけの陶器を作ってみませんか。

全国の主な伝統五芸品(陶磁器)

会津本郷焼	福島県	石見焼	島根県
笠間焼	茨城県	備前焼	岡山県
益子焼	栃木県	萩焼	山口県
美濃焼	岐阜県	大谷焼	徳島県
九谷焼	石川県	砥部焼	愛媛県
赤津焼	愛知県	小石原焼	福岡県
瀬戸染付焼	〃	上野焼	〃
常滑焼	〃	唐津焼	佐賀県
四日市萬古焼	三重県	伊万里・有田焼	〃
伊賀焼	〃	三川内焼	長崎県
越前焼	福井県	波佐見焼	〃
京焼・清水焼	京都府	小代焼	熊本県
信楽焼	滋賀県	天草陶磁器	〃
出石焼	兵庫県	薩摩焼	鹿児島県
丹波立杭焼	〃	壺屋焼	沖縄県

せつぺとべ

県内でも珍しいどろんどろん祭り

- ◆とき 6月第1日曜日
- ◆ところ 日置市日吉町八幡神社・鬼丸神社



約四百年前から日吉地域に伝わるお田植祭り。地域の若者が田の中で田陣を組み、酒を飲み唄を歌いながら勢いよく飛び跳ねます。この祭りは土をこねる足踏み耕と害虫を踏み潰す意味があり、泥にまみれて一年の豊作を祈願します。

※「せつぺとべ」は「精一杯跳べ」の意味

伊作太鼓踊

洗練された勇壮な踊り

- ◆とき 8月28日
- ◆ところ 日置市吹上町南方神社



由来には地区ごとに違うが、伊作島津家四代久義が田布施の二階堂氏を降伏させた戦略をヒントに考案されたとの説があり、伊作島津家城主十代忠良（日新公）が加世田城を攻略したときに奉納をするようになった。花笠をかぶった鉦と小太鼓の中打ちの優美な踊りを中心に、矢旗とホロを薙刀に付けて背負い、胸に太鼓を付けた平打ちが周りを囲み矢旗を左右に大きく振りながら勇壮に踊ります。

① 風木野陶

東條明美

<http://www.art-fukinoto.com/>

日置市日吉町日置708800-4
☎099-26923265
☎099-26923265
駐休営 9時00分～17時00分
月曜 無
10台



MAP 26P

遠く前方に東シナ海を望む高台に工房、ギャラリー、喫茶店がある。作品には四季折々の野花の絵付が施され、巾着（きんちゃく）の一輪差など個性的な作品も多い。

② 日置南洲窯

西郷隆文

<http://www.synapse.ne.jp/~taka/saim.html>

日置市日吉町日置5679
☎099-26923477
☎099-26923477
駐休営 9時00分～17時00分
日曜 無
10台



MAP 26P

日置島津家の菩提寺である吉富山大乗寺跡内に開窯。ウロコ模様か浮き上がった「蛇蝸（だかつ）」や漆を施し赤や黒の美しい光沢が見られる「陶胎（とうたい）」と呼ばれる個性的な作品も手掛けている。

③

しろさつま すえぞうがま
白薩摩の陶蔵窯 久保陶蔵



日置市日吉町日置5296
099-292-4097
9時00分〜18時00分
不定休
有・要予約
30台(大型可)

体験あり

お田植祭り「せつぺとへ」で知られる八幡神社のたもとにあります。当窯は手造りを主に、繊細できめ細やかな本薩摩「薩摩茜」(ピンク系)をはじめ、茶道具から日用品まで製作しています。湯呑類は内側に茶渋(黒つぼくな)が付きにくく仕上げられています。なお、白薩摩の出張体験も出来ます。

MAP 26P



①

しちぜんがま
七然窯 馬場朋成



日置市吹上町中之里1770-2
099-296-2501
10時00分〜17時00分
不定休(お問い合わせください)
有・要予約
5台

体験あり

粉引、灰釉(かいゆう)を用いた食器類を主に製作している。土は日置市で掘り出したものや他の土と混ぜ合わせたものを使用している。釉薬は身近な草木や灰のみのものを使用し、出来るだけ自然の美しさに近付けるよう心掛けている。



MAP 26P

④

とうぼう
陶房かおりん 山口伸次郎



日置市日吉町日置6-1
099-292-5575
10時00分〜17時00分
不定休
無
4台

土は探し歩いたこだわりのもの、釉薬も身近な草木を使用している。身近な土は黒く仕上がりますが、窯名でもある「カオリン」を粉引の素材に用いることで白を基調とした深みのある作品に仕上げている。

MAP 26P



②

しょういんがま
松韻窯 徳田正人
<http://www.showingama.com/>



日置市吹上町今田701-2
099-296-5880
10時00分〜18時00分
不定休(お問い合わせください)
無
5台

日用雑器、花器、壺などを主に製作している。穴窯での焼締(やきしめ)は、薪窯ならではの重厚な味わいのある作品に仕上がっている。使うごとに手にしっくりとなじむ、素朴で味わい深く飽きのこない作品作りを心掛けている。



MAP 26P



駐休体管
 日置市吹上町湯之浦316-11
 ☎099-296-3199
 13時00分～17時00分
 不定休(お問い合わせください)
 3台 無

③ 隠野窯

かくれの
がま
野上親志

吹上の人里離れた山間に開窯。「隠(かくれ)野(の)」の地名を窯名にした。主に磁器質の食器類を製作し、透明感のある作品に仕上がっている。「飾らない美」「抽象」という言葉を気に掛けながら製作している。



MAP 26 P



駐休体管
 日置市吹上町中原24200-1
 ☎099-296-3939
 11時00分～17時00分
 不定休(お問い合わせください)
 3台 無

④ 陽窯

よう
の
やう
黒田陽史

平成24年に大汝牟遅神社(おこなむちじんじや)の参道の先で開窯。焼締の急須を中心に「使いやすい器」、「飽きのこない器」を心がけて作陶している。



MAP 26 P



access guide



車

鹿児島空港

九州自動車道 30分

鹿児島 I.C.

南九州自動車道 25分 南九州自動車道 15分 指宿スカイライン 10分

美山 I.C.

3分

伊集院 I.C.

車10分

谷山 I.C.

県道22号 20分~30分

県道24号 15分

伊集院地域の
窯元(P17)

吹上地域の
窯元(P24)

東市来地域の
窯元(P7)

県道37号 20分

日吉地域の
窯元(P22)

JR

博多駅

九州新幹線 約1時間20分

JR 鹿児島中央駅

JR 鹿児島本線 18分

JR 伊集院駅

JR 鹿児島本線 5分

JR 東市来駅

路線バス・タクシー
日吉地域 (30分)
吹上地域 (40分)
美山地区 (10分)



日置市役所 〒899-2592 鹿児島県日置市伊集院町郡一丁目100番地 TEL.099-273-2111 FAX.099-273-3063
 東市来支所 〒899-2292 鹿児島県日置市東市来町長里 87 番地 1 TEL.099-274-2112 FAX.099-274-4074
 日吉支所 〒899-3192 鹿児島県日置市日吉町日置 377 番地 1 TEL.099-292-2112 FAX.099-292-3055
 吹上支所 〒899-3301 鹿児島県日置市吹上町中原 2847 番地 TEL.099-296-2112 FAX.099-296-3299